

ふれあい通信 平成26年12月号



発行：国保坂下病院広報委員会 TEL 0573-75-3118

ホームページアドレス <http://sakashita-hp.jp/>

「ふれあい通信」は坂下病院ホームページでも御覧いただけます

連載こくほ四山話

病院長 高山 哲夫

(112 出会い)



生活の中で、思いがけない出会いがあるものです。

最近私も、ある出会いを経験しました。仕事で奄美大島を訪れた時のことです。鹿児島県に属しますが、終戦後は米軍に占領されていた島。密航して本土に渡り、横綱になった米川文敏少年(後の横綱朝潮「朝夕」)の生まれ故郷であったことは以前より知っていました。さらに「mamushiより怖いハブの島」、「アマミノクロウサギの島」、「黒砂糖の産地」くらいの知識しかありませんでした。

「一生のうちもう二度と訪れることはないだろう」そんな思いを抱きつつ研修を終え、空港へ着いた時です。出航時間待ちで空港の売店に立ち寄りました。文庫本程の小さな1冊の本が目に入りました。「南島雑話」と表題のある本でした。それが「名越左源太」との出会いでした。

名越左源太は幕末の人間です。現在の鹿児島である薩摩藩島津家の高級藩士です。長男である斉彬を廃して、側妾の子である久光に後を継がせようし

た、藩主斉興の意図に反対した「お由良の方」事件に連座して、奄美大島に流罪となったのです。同じ時に、幕末の英雄西郷隆盛も奄美大島に流されています。本土の人間からすれば、当時の奄美大島は植民地と同じです。西郷どんは、現地妻をめぐり、何人かの子どももできています。ところが、島津藩

した。そのお話は、地域を良くするのは大金持ちでもない、偉い将軍でもない、政治家でもない。地域で生活する主人公アーネストその人であったと云うものです。奄美の人々にとっては、歴史に名を残した西郷隆盛よりも、名越左源太こそ地域にとって大切な人であったらうと思えます。

では西郷とは比べものにならない位高い身分の名越左源太は、一切そんなことはありませんでした。それどころか、人々の生活の中に入り込んで、地域の生活風習や行事などを克明に絵入りで書き残しています。そのため、後に流罪の身分ながら、島津藩から奄美大島の調査を命じられています。こんな名越左源太に対し、奄美の方々もとても親しみを感じ、あちこちに招かれて生活しています。さらに素晴らしいことに、名越左源太は、後年許されて鹿児島島に戻ると、島の少年を一人伴

「神の手を持つ医師」「安心して任せられる病院」「日本の名医」など、無責任な書籍やテレビ番組が横行しています。大きな病院で高度な医療機器を抱えていれば、それだけで安心してしまいます。でも、臓器を診る医師はいても人間を診てくれる医師は少ない。臓器は臓器だけで生きている訳ではありません。一人の人間の中の臓器であり、身体の様々な臓器は連携し合って生命を営んでいます。

鹿児島島に戻る時に、島の少年を一人伴い、彼を藩の医学校に入学させて医学を学ばせています。その少年が奄美大島に戻って、島で初めての医者になっています。鹿児島島に戻ってからの左源太がどうなったかはわかりません。でも、奄美の人々にとつては西郷隆盛よりも素晴らしい人であったことは言うまでもありません。

以前「石の顔」と云うお話を書きま

して診てくれる医師であろうと思えます。市の中で一人罹患するかしない稀な病気を治す「神の手」の医師はいりません。何よりも地域を知り、地域の気候風土、生活習慣を知り、その中で病気に対する助言をしてくれる医師、そんな医師が地域には必要です。坂下にも

名越左源太がいてくれたらと思えます。



今年もまた予防接種です。

10月より、水痘ワクチンの定期接種が始まりました。開始後ほぼ1ヶ月が経過しましたが、開始から今まで、目立ったワクチン不足もなく、順調に経過しています。

1歳から3歳までの間に2回接種し、1回目から2回目まで最低3ヶ月間開けて、6ヶ月後くらいに接種するようになっています。また、来年の3月までは、3歳から5歳まで、1回接種することができます。

現在、日本で使用されているワクチンは、2回接種するのがベターと考えます。(海外で使用されているのものに比べると効果が弱いようです)3歳から5歳までに1回接種された方は、6ヶ月後くらいに、自費でもう1回接種された方が良いと考えます。1歳から3歳までで、既にこれまで1回接種した方は、今回1回接種のみで良いとされています。3歳から5歳までに1回接種された方は、接種済みとされ、公費では接種しない様ですが、接種していないこととして？接種した方が良い

と考えます。(ただし、来年の3月までですが...) 既に水痘を患ったことがある方は、原則、接種する必要がありません。しかし、水痘は発疹がでて4〜5日目ピークになります。1〜2日目からほとんど拡がらなかつた方は、罹った人が接種しても害になることはありませんので、接種した方が良いと考えます。これまでに、おそらくそうであろうと思った方が3〜4日後に受診し、本当にそうであったのかと疑問に思ってしまうケースも、実際にこれまでにあったので、水痘に罹ったことがあるかどうかはつきりしない場合も、接種した方が良いと思います。何か解らない場合は、一度相談されてはどうでしょうか。

水痘ワクチンは、溶解後すぐに接種する必要があります。(時間がたつと、効果が減少してしまうと言われています) 質問や相談がある方は、溶解後は控えた方が良いでしょう。

おそらく、今度定期接種となるのは、B型肝炎ワクチンだと思います。現在は、母子感染予防のため、公費で施行されていますが、い

ろんなリスクを考えると、接種すべきワクチンであると考えます。

時期的には、インフルエンザの流行期が近づいて来ています。幸いなことに、ここ数年、この地方では、大流行には至っていません。接種してもインフルエンザに罹ってしまう場合もありますが、重症化予防にはなると言われています。

まだ接種されていない方は、年内に接種された方が良いと思います。



こんにちは栄養科です

「寿司の日」

坂下病院の給食では、毎年11月に「寿司の日」があります。前日に聞き取りをし、対象となる患者さんに握り寿司を提供しています。今年も、11月20日の昼食に「寿司の日」を行うことができました。

当日は、約百人分の握り寿司を一つ一つ握るため、厨房内は目の回るような忙しさになりましたが、毎年多くの患者さんに喜んでいただき、私たち栄養科スタッフも嬉しい限りです。この日は「刻み」や「つぶし」でしか食べられない患者さん

も、寿司ならそのまま食べられてしまったり「いつもは食欲のない患者さんも寿司のお代わりを沢山できた」などの声も多く寄せられ、寿司の力に毎年驚かされています。今年も、「寿司を食べた日を境に今までほとんど食べられなかった患者さんが食べられるようになった」という声をいただきました。「治療食」ということから、当然寿司を提供できない食種の患者さんかもしれませんが、日頃からおいしい食事を出しできるように、これからも努めていきたいと思えます。



連載 病院めぐり ④

「坂下病院 薬剤部②」

坂下病院薬剤部は、患者様に最良の薬物療法を提供することを目的とし、薬物治療がより効果的に、また出来る限り副作用を防止する支援を行いたい

と考えています。さらに、患者様の目線に立ち、患者様がより積極的に病気に対峙できるような指導が行える様に努力しています。

《業務内容》

① 医薬品管理

在庫管理：薬品卸への発注、院内への入庫チェック、各部署定数配置薬の在庫、品質管理、医薬品購入・在庫分析等を行い、院内の適正な医薬品在庫を確保、品質管理を行います。

麻薬・向精神薬・毒劇薬等の管理：法律で規制されている医薬品を管理します。有効期限や品質のチェックを定期的に行います。

② 医薬品供給

調剤：医師の処方箋に基づき調剤（処方監査→調剤→調剤監査）します。各患者様の内服薬、外用薬、インスリン等の自己注射薬の処方箋をもとに、それぞれの医薬品を取り揃え、それを患者様一人分ずつ薬袋に入れて用意しお渡ししています。

注射調剤：医師の指示に基づき緊急指示以外の注射薬個人別調剤を行います。各患者様の注射薬の処方箋をもとに、注射薬を取り揃え、

それを患者様一人分ずつバスケットに氏名・薬剤名を記載したラベルと伴に用意し、病棟へお渡ししています。

・注射薬の混合：抗癌剤の注射薬混合、および高カロリー輸液注混合を行います。

抗がん剤調製：癌の治療に用いる注射の無菌調整を行っています。薬剤部では調整の事前に処方設計、投与量、投与速度、検査データなどをチェックをしています。

調整は専用の部屋を使用、安全キャビネット内にて無菌的に調製を行っています。

高カロリー輸液調製：高カロリー輸液とは食事のとれない患者様などに行う点滴です。食事の代わりに、糖分、アミノ酸、ミネラル等を十分に含んでいます。高カロリー輸液は、ゆっくり時間をかけて点滴を行い、また、栄養が豊富なので、細菌が繁殖する可能性があります。そこで、医師から指示のあった高カロリー輸液については、無菌室内に設置したクリーンベンチという設備内で無菌的に調整を行っています。

医薬品払出：緊急や変更時に定数のない薬品や不足している薬品な

どは薬品請求にて各部署に出庫します。病棟注射カートへの補充をします。

国保坂下病院

「防災訓練」を行いました

11月16日（日）、国保坂下病院にて防災訓練が行われました。

今回の訓練目的は、休日災害時の緊急招集でした。震度5の地震が発生したと仮定し、休日中の職員が自宅から坂下病院まで駆けつけ、業務にあたるまでの訓練でした。

職員は、訓練を実施することにより常に災害に対する知識を習得し、災害が発生した場合において迅速に行動し、担当業務を的確に遂行できるように、今後も定期的の実施していきます。



連載 四季の画

坂下病院 花暦

今月の花：（ノギク）

一般に栽培されている菊は、和名を「キク」と言い、野生のものは存在しないとされる。しかしながら日本には、キクに似た花を咲かせるものが多数あり、「野菊（ノギク）」とは、そのような植物の総称として使われている。



季節の画を提供してくださる三浦貞夫さんは木曾郡南木曾町立在住。現在もりハビリをしながら絵を描き続けており、その作品はリハビリ室前の廊下にも掲示しています。

職員募集！ 看護師・准看護師

坂下病院で勤務していただける方を募集しています。

看護力が、この地域の住民の皆様を支えます。

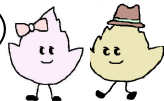
- ・60歳未満の方、性別は問いません。
- ・勤務時間など相談に応じます。

ご連絡をお待ちしています。

連絡先：0573-75-3118（内線210）

松本看護部長
吉村副看護部長

お待ちしております



＊ 坂下老人保健施設でも、看護師、准看護師、介護職員の募集を行っています。

☆ お 知 ら せ ☆

催し物	日 時・場 所	内 容
糖尿病食試食会	12月 9日（火） 午前11時～3階食堂	予約：坂下病院栄養科（内線164） お電話でおねがいします。 会費：310円（食材費）
ふれあい健康塾	来年より開催予定です。	

☆坂下病院各科診療表 診療状況により予約時間どおりには受診できない場合があります。予めご了承ください。
(平成26年12月現在) 予約変更などのお問合せは、平日午後2時以降に各科受付窓口へお願い致します。

診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科	第一(予約)	高山	酒井	高山(午前)	高山(午前)	酒井
	第二(予約)		近藤【呼吸器】	伊藤(午後)	高塚	田口【呼吸器】午後
	第三(予約)	信太(午前)	村瀬	信太		高塚(午前)
	新患外来	酒井	高塚	伊藤	信太	高山
	午前内科		大野【神経内】第3			佐橋【神経内】第1.3
	午後診療特殊			井上【漢方】第2.4 13:00～ 青木【腎臓】隔週		渡邊【腎臓】隔週
	午後診療	高塚	高塚	高塚	酒井	信太
外科	第一	横井	保坂【血管外科】			成田(第2) 田畑(第4)
	第二	近藤	近藤	近藤	近藤	水野
整形	第一	小嶋【リウマチ】	草野	小澤	草野	草野
	第二	矢野	赤根	矢野	矢野	山下
小児科	杉本	杉本	杉本	杉本	杉本	
眼科	木下 受付11:00まで	木下	木下 受付11:00まで	木下	木下	
泌尿器科	渡邊			山田 第1.3.5 青木 第2.4	深津	
耳鼻咽喉科	小川	西村	清水	矢野原	稲川	
皮膚科			伊能 第1.3.5 松本 第2.4			
脳神経外科				大須賀 14:00～		
婦人科				浅井 第1.3	萬羽(午前)	